

令和3年度 加賀市当初予算 最重点事業

～コロナ禍を乗り越えスマートシティへ～



令和3年度 加賀市当初予算概要

	予算額	前年度比	
全会計の予算総額	683億5,670万円	+7億8,320万円	+1.2%
1 一般会計予算 (借換債を除く場合)	344億8,900万円 (332億1,818万円)	+7億400万円 (+9億3,516万円)	+2.1% (+2.9%)
		(参考) 地方財政計画の伸び率△1.0%	
2 特別会計予算 (5会計)	162億6,510万円	+7,360万円	+0.5%
3 企業会計予算 (3会計)	176億260万円	+560万円	±0.0%



新型コロナウイルス感染症対策

感染拡大防止

「加賀市の八重の盾」

新規

○新型コロナウイルス感染症応援職員派遣支援事業
(障がい者・高齢者施設) 5,666千円

他の法人からの介護職員や看護師等の応援職員の派遣を支援

新規

○新型コロナウイルス感染症の検査体制整備事業
市独自のPCR検査体制を整備 6,000千円

「加賀市の八重の盾 緊急強固策」

新規

○避難所リアルタイム混雑状況発信事業 2,200千円

「密」を回避して円滑に避難するための情報を提供





新型コロナウイルス感染症対策

市民生活支援



拡充

○多子世帯放課後児童クラブ利用助成事業

第2子の利用料助成の範囲を小学校1年生から3年生まで
(所得制限なし) に拡充

42,017千円
(28,241千円)

○多子世帯等児童生徒給食費助成事業

拡充

給食費の助成の範囲を18歳以下の児童のいる世帯の
第2子(所得制限なし) に拡充

121,446千円
(67,492千円)

※()は新型コロナウイルス感染症対策事業費で内数

○第3子以降誕生祝金給付事業

新規

第3子からの出産にお祝い金30万円を支給

21,000千円





スマートシティの推進

目 標

「市民のQOL」「来訪者の満足度」「稼ぐ力」の向上

戦 略

1. デジタルファースト ～データ駆動型のまちづくり～
2. クリエイティブ ～創造的なまちづくり～
3. スマートシチズン ～市民との共創によるまちづくり～

CDO
(Chief Digital Officer
: 最高デジタル責任者)
の新規登用

統括

3つの戦略を具体化する重点化事業

デジタル自治体プラットフォーム

デジタル人材育成

デジタル自治体プラットフォーム

新規

○データ連携基盤活用等事業

31,929千円

- **電子申請の拡充**
マイナンバーカード・デジタルIDを活用し、電子申請の拡充を行い、住民の生活の質を向上



- **データ連携基盤の活用**

FIWAREを活用した各種データ間の連携及び、データと各種デジタルサービスを連携させる基盤を整備 また、電子投票のための調査を実施

新規

○仮想加賀市民(e-Residency)基盤システム構築事業

19,000千円

- **仮想加賀市民基盤システムの構築**

仮想加賀市民と位置付ける多拠点居住者などに、デジタル身分証明書の発行などを行うシステムを構築

市外からの多拠点居住者



デジタル身分証明書の生成・発行



デジタル自治体プラットフォーム

新規

○都市デジタルツイン構築事業

- デジタルツインの調査研究（北陸先端科学技術大学院大学との共同研究）

防災等をテーマとするデジタルツインについての調査研究

- 都市デジタルツインの開発研究

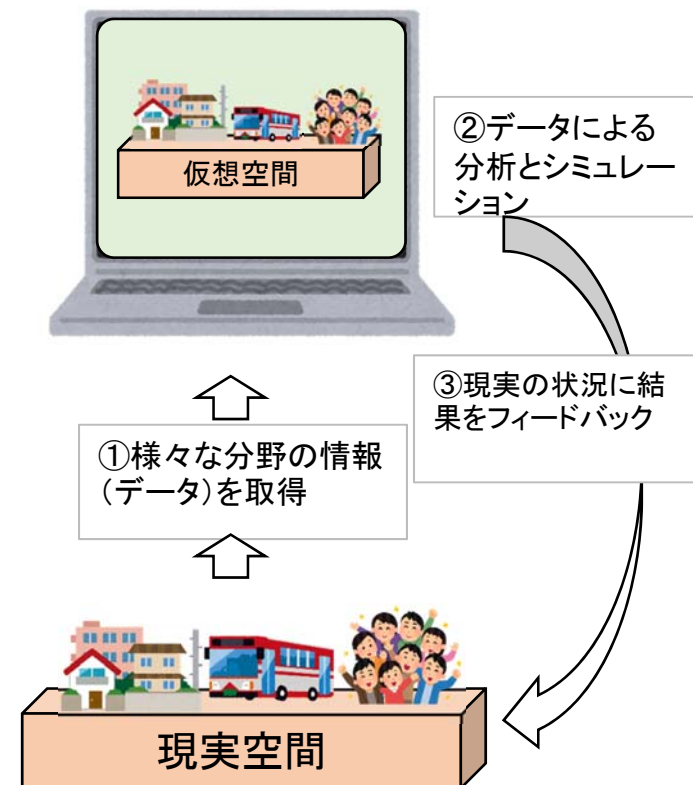
現実の建物と街などの情報（データ）をもとに、コンピュータ上に仮想の建物と街などをつくるデジタルツインの開発研究

- コンソーシアムの設立・運営

都市の全体最適に向けたデジタルツインの開発と運用の検討

デジタルツインとは、
現実の状況（空間）からデータを取得し、コンピュータ上で仮想の状況（空間）を再現し、状況の可視化、分析・シミュレーションするもの

10,000千円



デジタル自治体プラットフォーム

新規

○オープンデータ化調査等検討事業

10,000千円

市が保有する台帳のデジタル化及びオープンデータ化に向けた調査及び開発設計

新規

○デジタルデバイス普及促進事業

10,440千円

- ・スマートフォン初級教室の開催

スマートフォンの利用体験や、基本的な使い方を習得
講師：市内のIT事業所の社員など

- ・高度なスマートフォン活用教室

電子申請などの体験研修
講師：市内の携帯電話販売店の店員など

- ・スマートフォン購入助成

対象：スマートフォン教室を受講した
市内在住の高齢者



デジタル人材育成

拡充

○地域課題解決実証事業

45,000千円

先端技術を活用した地域課題解決の実証実験を実施

- **アバター活用実証**

「行政」「教育」「医療」「商業」「観光」などの様々な分野において、コミュニケーション型アバター5台を活用した実証実験を実施

- **エアモビリティ等活用実証**

エアモビリティ（ドローンなど）を活用した実証実験を実施

- **5G（第5世代移動通信システム）活用実証**

加賀市イノベーションセンターで、5Gを活用したMR（※1）の実証実験を実施



（※1）MR（mixed Reality）現実と仮想世界を融合させた複合現実

- **実証実験サポート事業**

加賀市をフィールドとする先端技術等を活用した実証実験プロジェクトを全国から公募し、その実施をサポート

デジタル人材育成

新規

○インターネット環境強化整備事業

イノベーションセンターにおいて、
高速大容量のインターネット環境
を整備 2,978千円

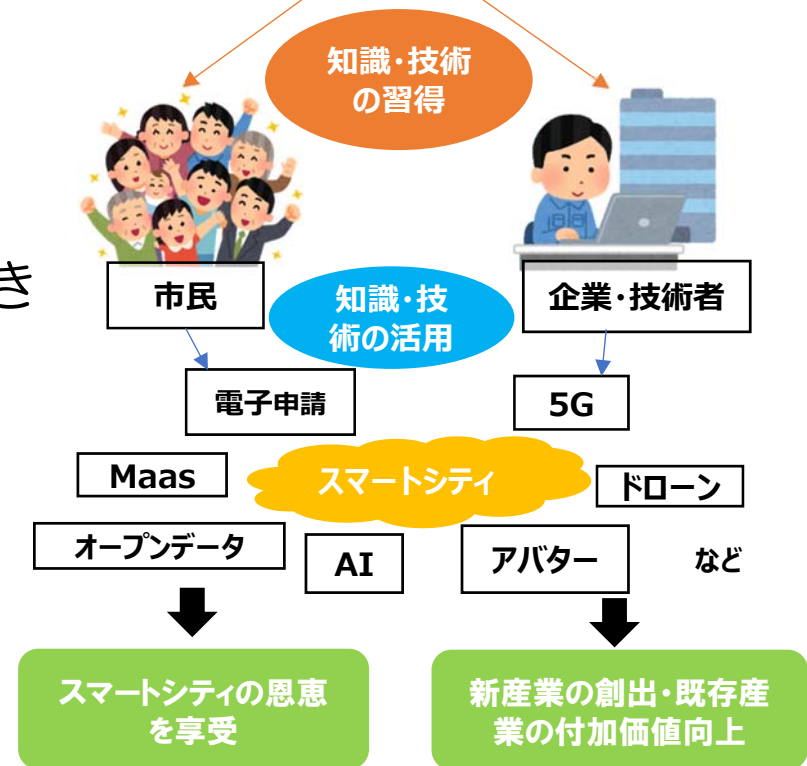


拡充

○高度人材育成事業 12,000千円

市民や市内企業に対して先端技術を活用できるスマートシティに資する高度人材を育成

- 5Gワークショップ
- 3Dプリンタ講習
- ドローン講習
- アバター講習
- 最先端技術に関する講演会
- スマートシティに関する講演会 など



デジタル人材育成

○ KAGAものづくりラボ運営事業

9,000千円

市内企業や市民、多拠点居住者に、3Dプリンタ等を利用できる場を提供することで、新たな製品、サービスの開発や高校生の産業人材としての育成を促進

拡充

○ 人材育成の拠点整備事業 (スタートアップ支援) 3,112千円

イノベーションセンターのインキュベーションルーム入居者（入居予定者）への経営相談や事業立上げ経費の支援

- ・ **スタートアップ創業相談支援**
- ・ **加賀市スタートアップ企業応援
(事業立上げ・経費の支援)**

KAGAものづくりラボ

・利用可能な機材：
3Dプリンタ、カッティングマシン、デジタル刺繍マシン、レーザー加工機、ミリングマシン、基板切削機、制御ボード、ブレッドボードなど



市内企業者



一般市民



市内高校生



インキュベーションルーム入居者



多拠点居住者



移住・定住促進アクション

拡充

○移住住宅取得助成事業・若年層定住住宅取得助成事業

64,541千円

移住者や若年層・ファミリー層を対象に一戸建ての住宅取得を支援、市内の移住・定住を促進

拡充

○空き家バンク事業

4,759千円

増加する空き家を活用するため、町内会などに呼びかけ、より多くの利用希望者とのマッチングを図るとともに、地域を活性化

- ・ 契約成立時に報奨金
- ・ 購入等インターネット環境整備費用を助成

加賀市への移住を応援します! 加賀市移住住宅取得助成事業	若者の定住を応援します! 加賀市若年層定住住宅取得助成事業
<p>市外からの転入者に住宅取得費の一部を助成します。</p>	<p>45歳未満の方に住宅取得費の一部を助成します。</p>
対象となるのは？	
<p>加賀市内で住宅を取得(新築・購入)する方で、次の条件全てに該当する方</p> <p>(1) 転入前5年以上継続して加賀市以外に住所を有していて、転入日から居住開始日までに3年を経過していない親族が同一世帯に含まれる方</p> <p>(2) 対象となる住宅に5年以上定住する方</p> <p>(3) 市税等の滞納が無い方</p> <p>(4) 住宅持分が半分以上の方</p> <p><small>※補助対象者は、世帯から一人とします。 ※若年層定住住宅取得助成事業との併用は出来ません。 ※着工前に必ずご相談ください!</small></p>	<p>加賀市内での定住を目的に住宅を取得(新築・購入)する方で、次の条件全てに該当する方</p> <p>(1) 新築・購入に係る住宅ローン等の借入金及び債務を有する方</p> <p>(2) 契約締結日において45歳未満の方</p> <p>(3) 市税等の滞納が無い方</p> <p>(4) 住宅持分が半分以上の方</p> <p><small>※補助対象者は、世帯から一人とします。 ※移住住宅取得助成事業との併用は出来ません。 ※着工前に必ずご相談ください!</small></p>
補助金の額	
<p>(1) 基本額 上限70万円(住宅取得額の50%以内)</p> <p>(2) 加算額 ア 子ども1名につき 20万円 世帯に18歳(年度末まで)以下の子どもがいる場合 イ 地元業者利用(新築のみ対象) 30万円 市内業者が完結し、施工した場合 ウ 居住誘導区域に居住 10万円 ※加賀市立地適正化計画で定める区域</p>	<p>(1) 基本額 ア 新築・建売住宅の購入 上限30万円(借入金の10%以内) イ 中古住宅の購入 上限10万円(借入金の5%以内)</p> <p>(2) 加算額 ア 子ども1名につき 10万円 世帯に18歳(年度末まで)以下の子どもがいる場合 イ 地元業者利用(新築のみ対象) 10万円 市内業者が完結し、施工した場合 ウ 補助対象者が35歳未満(契約締結日) 10万円 エ 居住誘導区域に居住 10万円 ※加賀市立地適正化計画で定める区域</p>
対象の住宅	
<p>①新築住宅 ②建売住宅 ③中古住宅のいずれかで、住宅の延べ床面積の1/2以上が専ら自己の居住用に供されるもので、当該延べ床面積が75㎡以上であるもの</p> <p><small>※既存住宅等の購入については、建売住宅で未使用(築3年未満)のもの又は空き家バンク制度に登録された中古住宅が対象です。</small></p>	



移住・定住促進アクション

新規

○空き家を活用した住宅整備事業

17,290千円

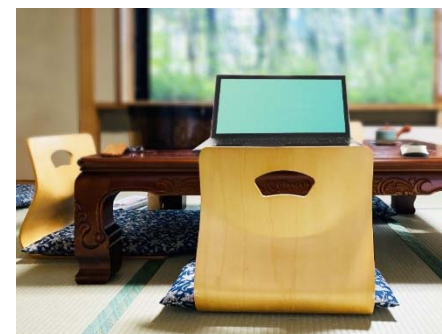
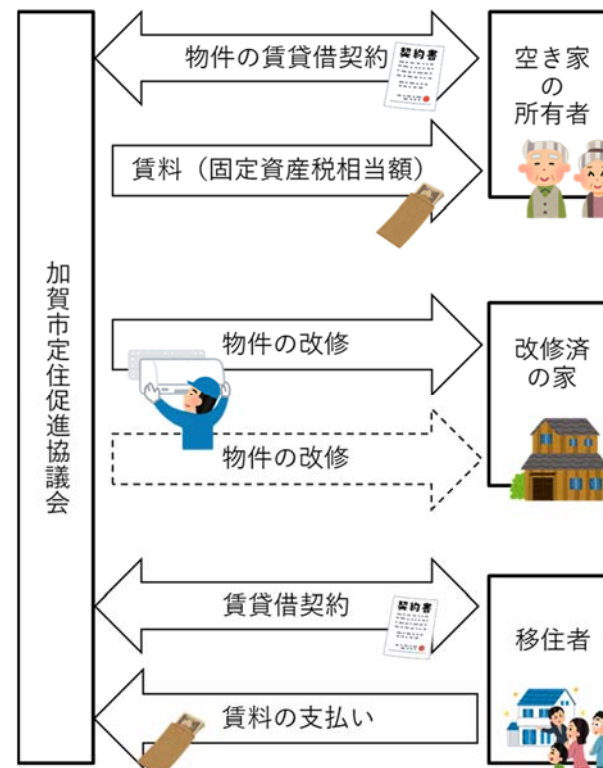
空き家を改修し 中長期的に滞在できる環境を整えることで、移住のハードルを下げ、定住を促進

新規

○ワーケーション・テレワーク促進事業

16,000千円

ワーケーションのモニターツアーや首都圏等からのスマートシティに資する高度人材及びクリエイティブ人材を対象に温泉旅館での滞在型のワーケーションを実施し、関係人口の創出拡大や移住促進、市内温泉旅館の利用を促進





かがっこ応援プロジェクト

○ かがっこ応援プロジェクト2021 259,246千円

子育て世帯が安心して子どもを産み育てることができる環境を整備するとともに、すべての子どもたちが夢と希望を持てるよう、子育て支援策を充実 「子育て安心パッケージ」をさらにバージョンアップ

拡充

- **多子世帯放課後児童クラブ利用助成事業（再掲）** 42,017千円
第2子の利用料助成の範囲を小学校1年生から3年生(所得制限なし)に拡充

拡充

- **ファミリーサポートセンター事業** 5,388千円
妊娠中の支援強化と多胎児家庭の身体的、精神的、経済的な負担を軽減

新規

- **第3子以降誕生祝金給付事業（再掲）** 21,000千円
多子世帯のサポートと将来の人口増加を期待して、第3子からの出産にお祝い金30万円を支給





かがっこ応援プロジェクト

拡充

- **保育園等給食費無料化事業** 37,238千円
保育園等に対し、保護者が実費徴収として支払うべき給食費の副食費相当額を助成

拡充

- **多子世帯等児童生徒給食費助成事業（再掲）** 121,446千円
多子世帯における第2子以降の児童生徒をもつ保護者を対象に給食費を助成





特色のある教育

拡充

○高校魅力化事業

27,624千円

市内高校や地域と連携して、高校の魅力化を図り、市内中学生の市内の高校への進学率を上げ、地域の活性化や教育環境の充実を図る

• 高校活動支援

魅力化スタッフ（地域おこし協力隊）による高校生の探究・体験学習活動等への支援

高校の特色に応じた支援

大聖寺高校

有名講師等の講演開催助成

加賀高校

動橋まちかふえの生徒活動支援等

大聖寺実業高校

情報処理学習の技術者派遣

• 駅前に高校生が集うスペースを開設

魅力化スタッフが大聖寺駅前スペースで高校生の活動を支援



特色のある教育

○ STEAM教育推進事業

14,171千円

児童生徒が社会にある課題を発見し、解決に向け、思考力・判断力・表現力を育成するとともに、課題解決に向けた行動力を身に付ける

- 「ICTを活用した教育環境実証事業」

VR（※2）キット等を活用したICT技術を体験、市の課題を自ら調べて解決する力を育成

（※2）VR（virtual Reality）人工的に創りだされた仮想空間のことで、限りなく実体験に近い体験ができる。



VR体験

- 小学校教科STEAM化支援費

小学校5～6年生を対象にプログラミング教材を活用し、算数・理科でのSTEAM教育の基礎となるプログラムの思考を育む

○ コンピュータクラブハウス加賀運営事業

20,693千円

- こどもたちがテクノロジーに触れ、探求することをおして先端技術を活用できる人材を育成

学校では学べないキャリア教育の推進と充実を図る





北陸新幹線金沢・敦賀間開業に向けて

○ 加賀温泉駅周辺施設整備事業

557,190千円

令和5年度末の北陸新幹線金沢・敦賀間の開業に向け、
加賀温泉駅及び駅前広場を市の玄関口として整備

- 加賀温泉駅地下自由通路改修工事委託 213,686千円
- 加賀温泉駅前広場歩行支援施設整備 64,295千円
- 加賀温泉駅前広場整備 146,300千円 など



歩行支援施設



地下自由通路